

北保証サービ
上期金融取扱

転貸融資が半減

下期需要拡大見込む

北保証サービスは、2014年度上期(4-9月)の金融事業取扱実績をまとめた。元請企業が利用する地域建設業経営強化融資制度(転貸融資)は、3億7289万円で前年同期に比べ51.2%の大幅な減少を示した。一方、下

請企業が対象となる下請債権保全支援事業(保証ファクタリング)は8億3199万円で、40.9%の減となった。同社では今後、年末および年度末にかけて取り扱いの増加を見込んでいる。

転貸融資制度は、元請企業

が北保証サービスなど一定の民間事業者などに工事請負代金債権を譲渡し、譲渡した工事の出来高に応じて金融機関から転貸融資を受けるもの。14年度上期の取り扱い件数は31.7%減の28件で金額は3億7289万円だった。

発注者別の実績は、国が3億844万円、北海道が1億1552万円、市町村が2億1

893万円となっている。月別では4月が1億5961万円、9月が1億0242万円、8月が6398万円と続き、6月はゼロだった。今回、初めて釧路市での実績を上げるなど市町村への融資拡大を含め、下期は国や北海道の資金調達の需要拡大を見込んでいる。

下請企業が元請企業に対す

る債権を保証する下請債権保全支援事業は、件数が26.1%減の119件、金額が8億3199万円だった。内訳は個別保証の売掛金保証が2億7812万円、手形保証が4億1472万円。枠保証が1億3914万円だった。